

# ベースロード市場について

2024年10月30日

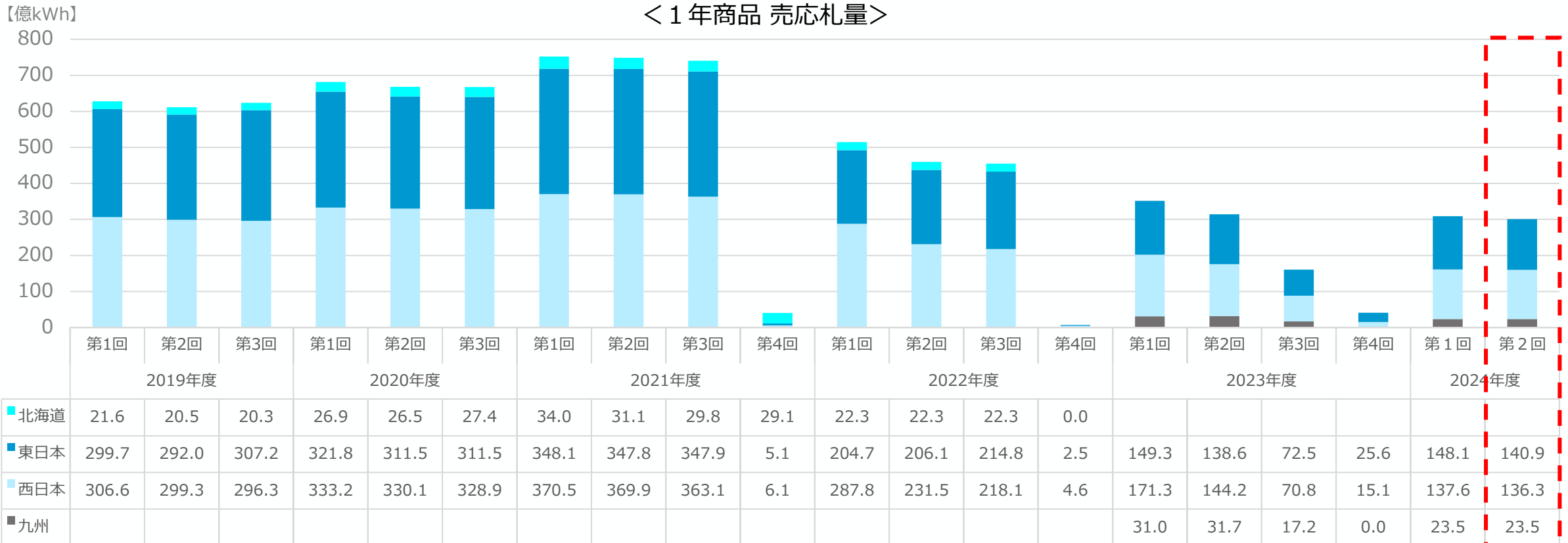
資源エネルギー庁

# はじめに

- 第96回制度検討作業部会（2024年9月27日）では、第1回オークションの結果を御報告するとともに、2026年度受渡し分以降における値差への対応に係る今後の検討の進め方等について議論を行った。
- 今回は、2024年10月18日に第2回オークションが行われたことから、その結果を御報告する。

# 2024年度第2回オークションの売応札量（1年商品・固定価格取引）

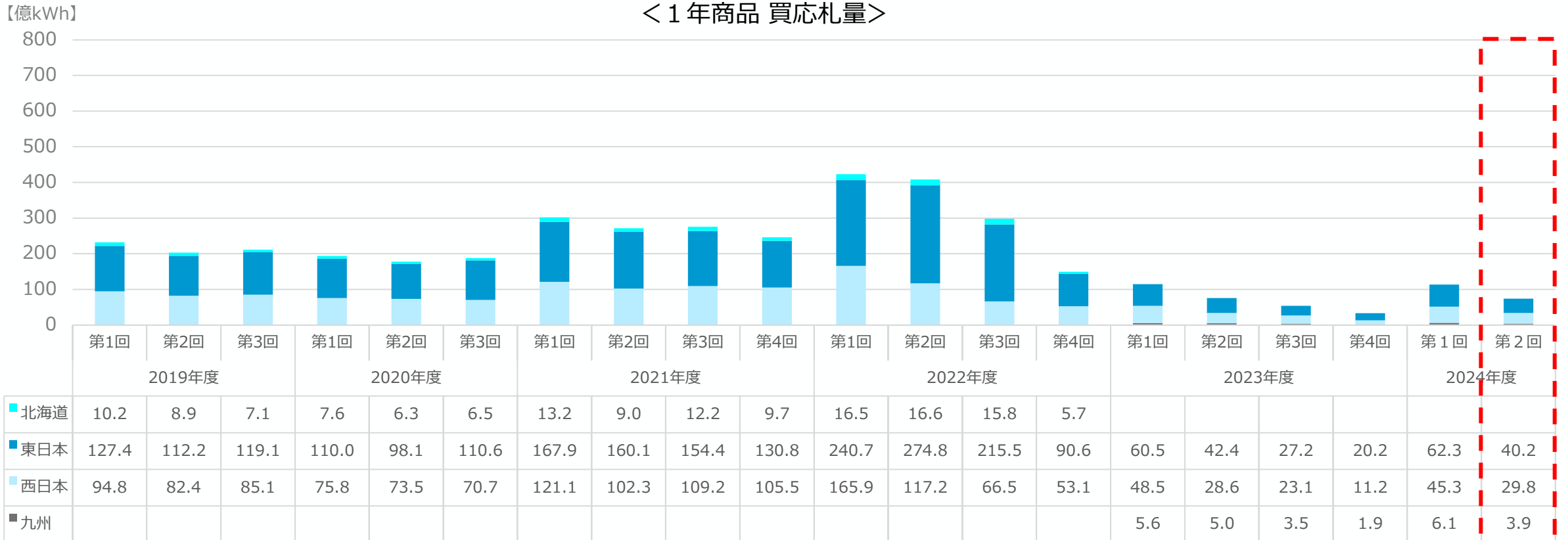
- 売応札量は約300.7億kWhとなり、2023年度第2回オークションの売応札量の約95.6%となった。
- 2024年度第1回オークションと比較した売応札量は約97.2%と大きな変化はなかった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

# 2024年度第2回オークションの買応札量（1年商品・固定価格取引）

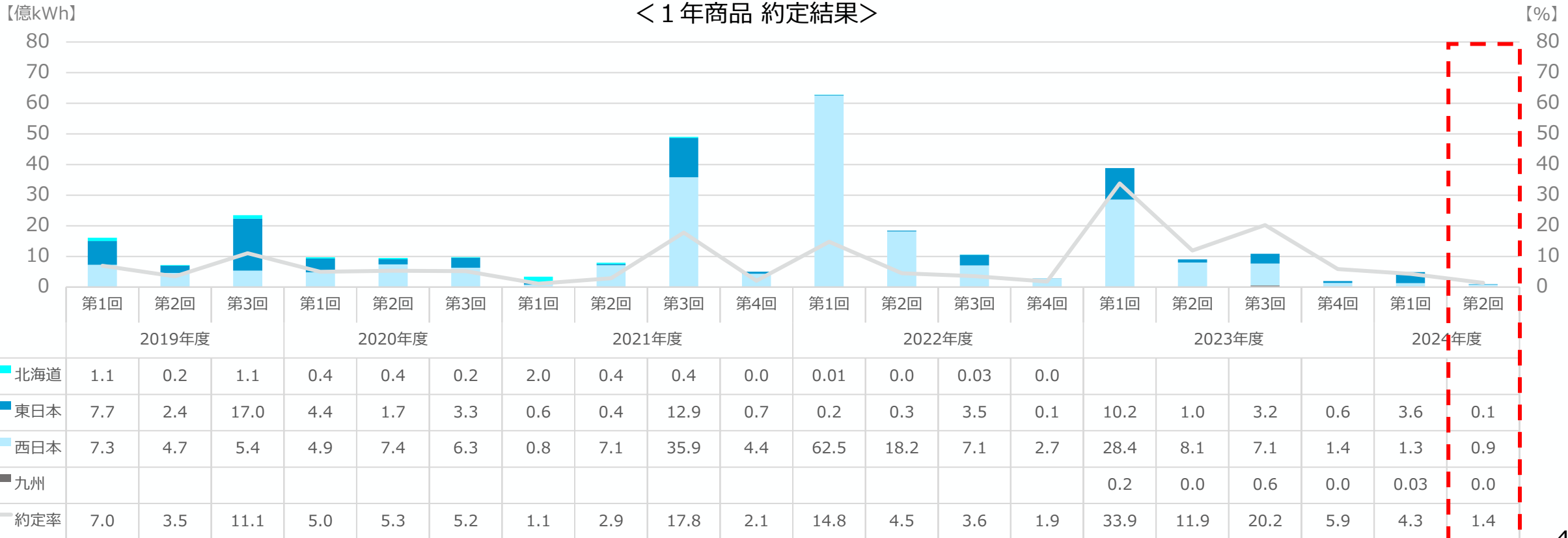
- 買応札量は約73.9億kWhとなり、2023年度第2回オークションの買応札量の約97.1%となった。
- 2024年度第1回オークションと比較した買応札量は約65.0%となり、減少割合は売応札量よりも大きくなった。これは、第1回オークションで一定量の約定があった事業者からの買応札量が減少したこと等も一因と考えられる。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

# 2024年度第2回オークションの約定結果（1年商品・固定価格取引）

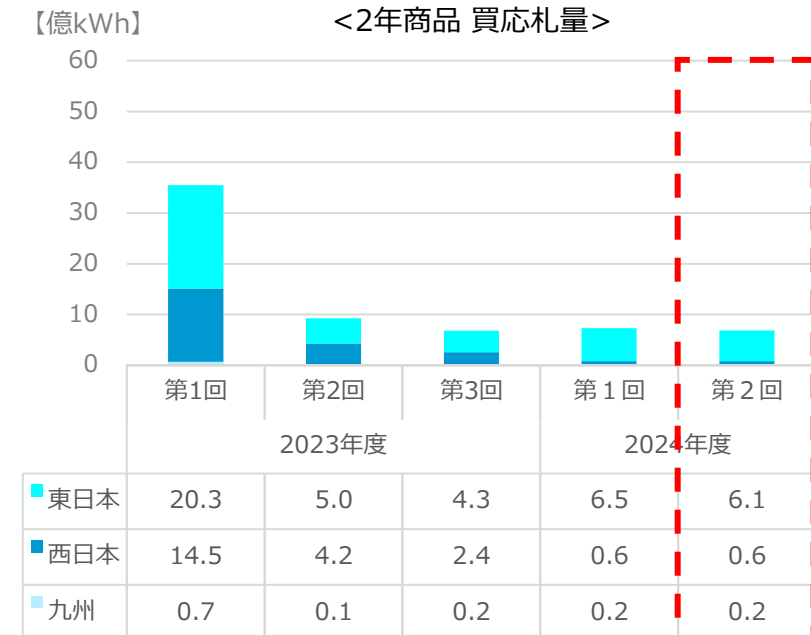
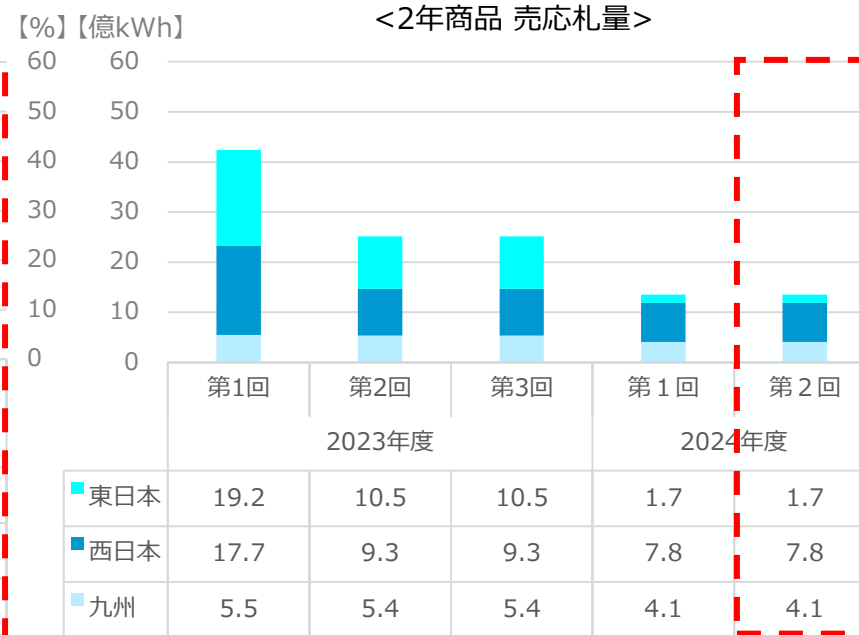
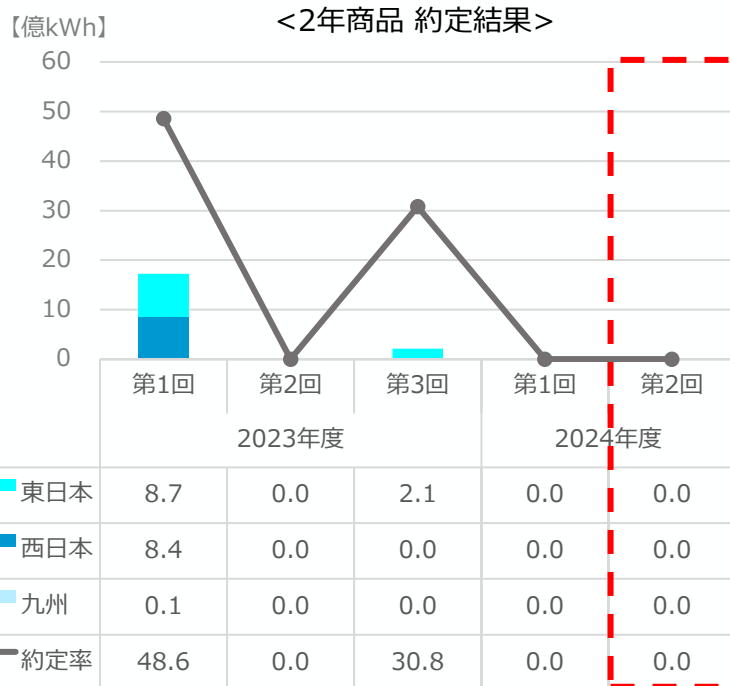
- 約定量は約1.1億kWhとなり、**2023年度第2回オークションの約定量の約11.7%と大幅に減少した。**
- また、約定率（約定量/買応札量）について、2023年度は例年度と比較して高い約定率を維持し、買手・売手の応札価格の目線が合ってきている様子が見られたが、**2024年度は2023年度に比べて低い水準が続いている。**



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

# 2024年度第2回オークションの結果（2年商品・事後調整付取引）

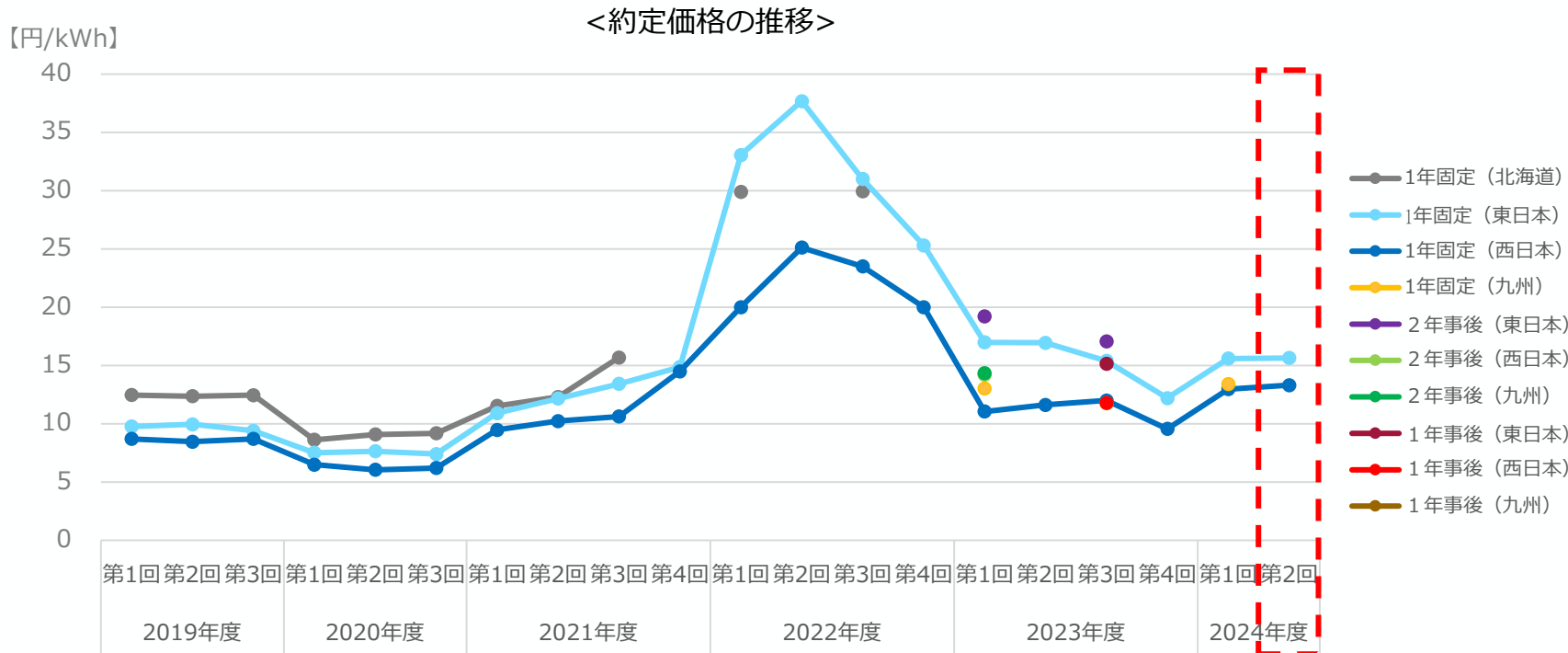
- 2024年度第2回オークションでは、第1回オークションに引き続き全エリアにおいて2年商品の約定はなかった。
- 売応札量は約13.5億kWhとなり、2023年度第2回オークションの売応札量の約53.8%となった。また、買応札量は約6.9億kWhとなり、2023年度第2回オークションの買応札量の約74.1%となった。
- 2024年度第1回オークションにおいて2年商品の約定がなかったことなどもあり、第1回オークションと比較した売応札量・買応札量に大きな変化はなかった。



※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

# 2024年度第2回オークションの約定結果（約定価格）

- 1年商品・固定価格取引の約定価格は、東日本エリア15.65円/kWh、西日本エリア13.31円/kWhとなり、**2024年度第1回オークションと比較し、東日本エリアは約1.00倍、西日本エリアは約1.03倍**となった。
- 過年度に引き続き、西日本エリアの約定価格は他エリアと比較して低い傾向にある。



<参考価格>

商品エリア	(参考)基準エリアの直近月までの平均エリアプライス		(参考)先物価格※3
	1年分※1	6か月分※2	
東日本	12.93	13.40	15.31
西日本	10.94	11.35	13.16
九州	10.36	10.77	

- ※1 スポット市場価格単純平均にて算出 (2023年10月1日～2024年9月30日)
- ※2 スポット市場価格単純平均にて算出 (2024年4月1日～2024年9月30日)
- ※3 1年間分の先物市場価格帳入値段単純平均にて算出 (10/18 2025年4月限～2026年3月限)

# (参考) 2024年度第2回オークションにおける事後調整係数

- 事後調整付取引においては、買手のリスクを緩和する観点から、入札前に調整係数※1の公表をしている。
- 2024年度第2回オークションにおける事前公表値（加重平均）は、第1回オークションに引き続き、九州エリアが他エリアと比較して低い結果となった。

<2024年度オークションにおける事後調整係数（2年商品）>

2024年度 第1回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.36	—
九州※2	—	—	0.19	—

2024年度 第2回	事前公表値			約定
	最大値	最小値	加重平均	加重平均
東日本※2	—	—	0.36	—
西日本※2	—	—	0.33	—
九州※2	—	—	0.19	—

■ 供出上限価格と調整単価の算定に関する簡易イメージ（参考）

基準石炭価格(①)	50,000円/ton	1,000円/ton 増加(⑤)	+1,000円/ton	1,000円/ton 下落(⑥)	▲1,000円/ton
想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton	想定消費数量(②)	10,000千ton
石炭燃料費(①×②)	500,000百万円	石炭燃料費増加(⑤×②)	+10,000百万円	石炭燃料費減少(⑥×②)	▲10,000百万円
修繕費	40,000百万円				
減価償却費	50,000百万円				
その他固定費	210,000百万円				
容量確保契約金額	▲100,000百万円				
合計(③)	700,000百万円				
BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh	BL想定発電量(④)	50,000百万kWh
供出上限価格(③/④)	14.00円/kWh		+0.20円/kWh		▲0.20円/kWh
調整単価 (平均石炭価格が1,000円/ton変動した場合の円/kWh当たりの変動額)			0.20円/kWh		

(出所) 第82回制度設計専門会合（2023年2月20日）資料6より抜粋

※1 供出上限価格の算定の際に用いる諸元（燃料の想定消費数量、想定発電量等）に基づき算定される、石炭価格が1,000円/トン変動した場合の変動額（円/kWh）

※2 売手側の制度的供出者が2者以下のため、加重平均値のみ事前公表される



# 今後のスケジュール等について

- 2024年度オークションは、11月に第3回、1月に第4回が実施される予定。

## <今後の取引スケジュール>

	受渡期間	取引価格	入札期間	取引実施日
第3回	1年	固定価格取引	2024年11月17~27日	11月27日
	1年	事後調整付取引	2024年11月19~29日	11月29日
	2年	事後調整付取引	2024年11月19~29日	11月29日
第4回	1年	固定価格取引	2025年 1月21~31日	1月31日

## <各オークションにおいて取り扱う商品>

	第1回（8月）	第2回（10月）	第3回（11月）	第4回（1月）
1年商品 受渡し期間1年 (制度的供出量割合※1)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5% + $\alpha$ ※3)	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 受渡し期間2年 (制度的供出量割合※2)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	—

※1 同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く

※2 前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く

※3 第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量 $\alpha$